

株式会社アバールデータ

2013年3月期 第3四半期決算説明会

(2013年2月19日 アバールデータ厚木事業所)



会社概要と業績報告

中期経営計画概要

ご報告内容

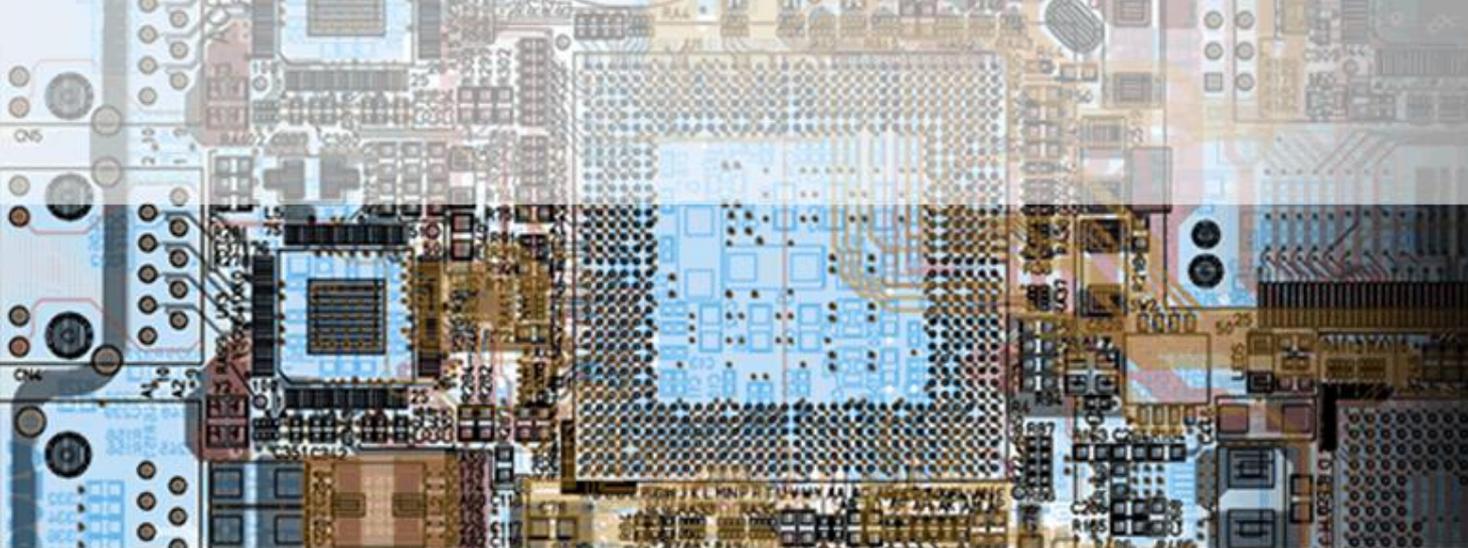
1. 会社概要
- 2 2013年3月期（第54期）
第3四半期業績報告・業績予想
3. 2012年 中期経営計画概要
4. 参考資料

2013年2月19日

(CPP-1302-A)

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。



株式会社アバールデータ 会社概要 2013年3月期



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

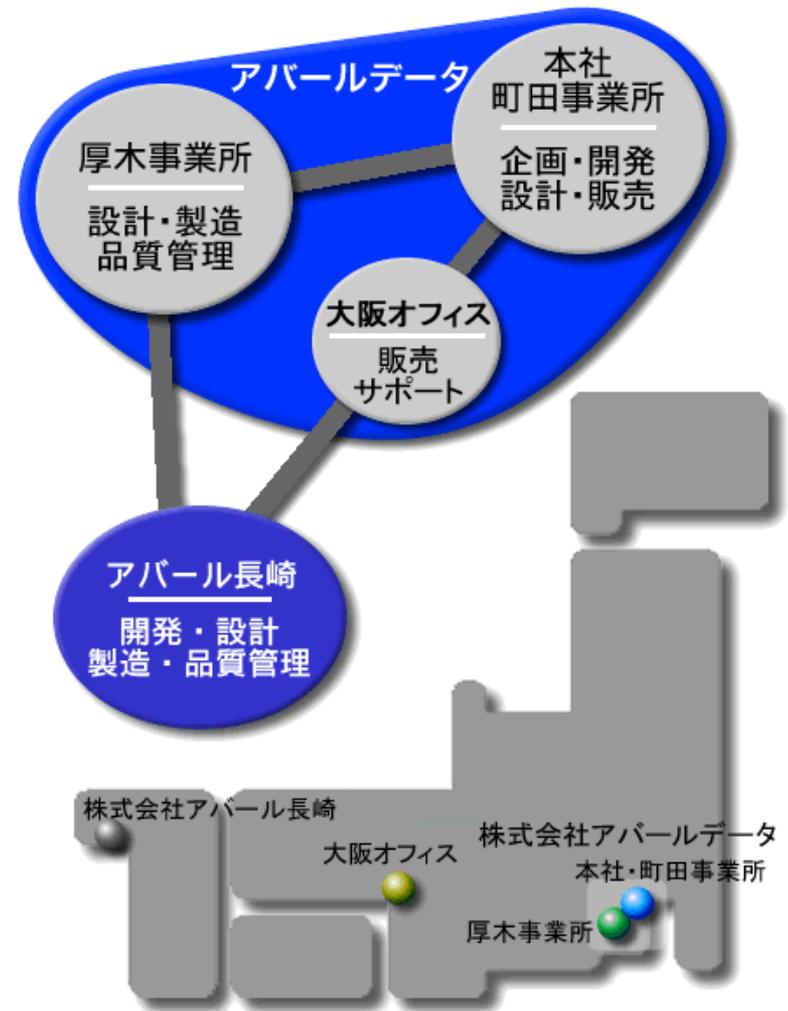
株式会社アバールデータ

本社・町田事業所 東京都町田市旭町 1-25-10
 厚木事業所 神奈川県厚木市金田 1041
 代表取締役 嶋村 清
 会社設立 1959年8月
 資本金 23億5,409万円
 従業員 175名
 JASDAQ店頭公開 1991年
 ISO9001認証取得 1995年
 ISO14001認証取得 2001年



株式会社アバール長崎

本社 長崎県諫早市津久葉町6-42
 情報機器営業部 神奈川県厚木市中町4-10-2
 代表取締役 川浪 義光
 会社設立 1987年11月
 資本金 1億3,400万円
 従業員 125名
 ISO9001認証取得 1996年
 ISO14001認証取得 2006年



沿革

- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ○ 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1988 ○ 画像処理製品の開発プロジェクトを発足
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現JASDAQ)
- 1996 ○ (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2002 ○ 高速光通信Giga Channelを独自企画、販売開始
- 2007 ○ PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始
- 2010 ○ (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始
- 2010 ○ PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始
- 2011 ○ 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始
- 2012 ○ 超高速光通信カメラインターフェースOpt-C:Linkを独自企画、販売開始

関連事業分野と利用製品

世の中の商品とつながっているアバールデータの製品

アバールグループ



アバールグループの製品

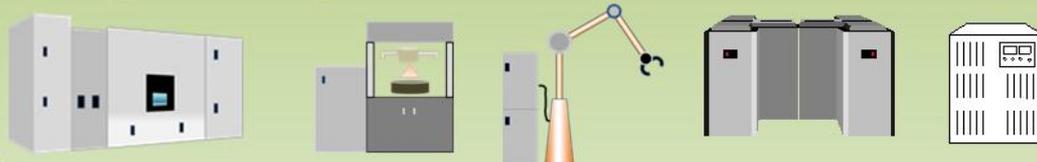
半導体/液晶
製造装置

検査装置
計測機器

F A 用
制御機器

通信機器
関連機器

電力/鉄道
省エネ機器



アバールグループの製品が組込まれた機器(製造装置)

スマートフォン

PC

TV

車



半導体/液晶

アバールグループの製品が組込まれた機器で製造された製品(最終製品)

産業用装置

高信頼性(止まらない)

高速性(大容量のデータ)

長期供給(製品寿命)



さまざまな使用環境

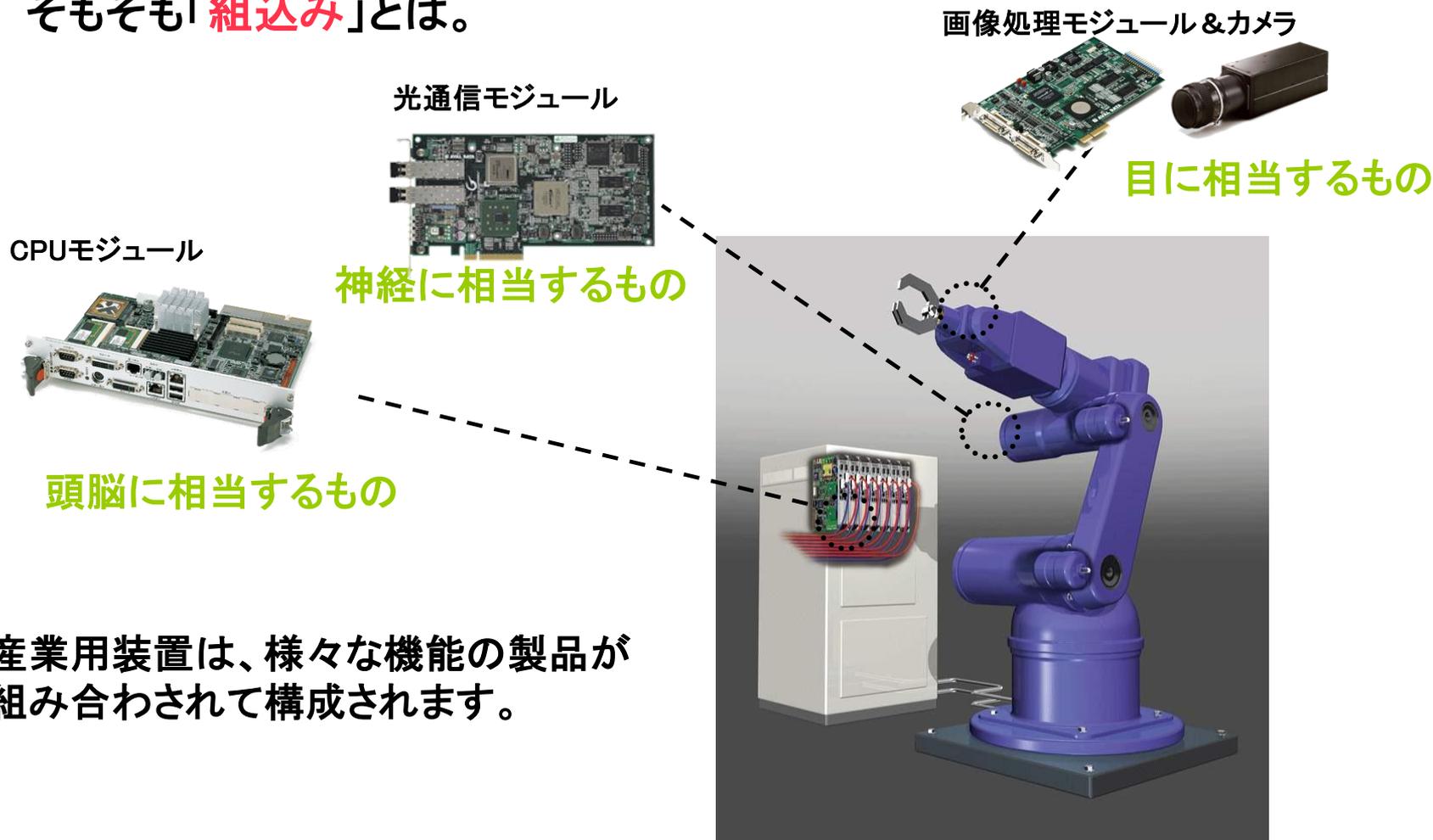
24時間フル稼働

長期間運用(15年~30年)

工場・公共施設等

「組み込み」とは

アバルデータは組み込み分野の製品を販売しているのですが、
そもそも「**組み込み**」とは。



産業用装置は、様々な機能の製品が
組み合わされて構成されます。

自社製品の種類

組み込みモジュール

組み込み分野で業界をリードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機で活躍しています。

画像モジュール

画像処理ボードで国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使用します。

計測通信機器

産業用通信で最高速を誇るGigaチャンネル



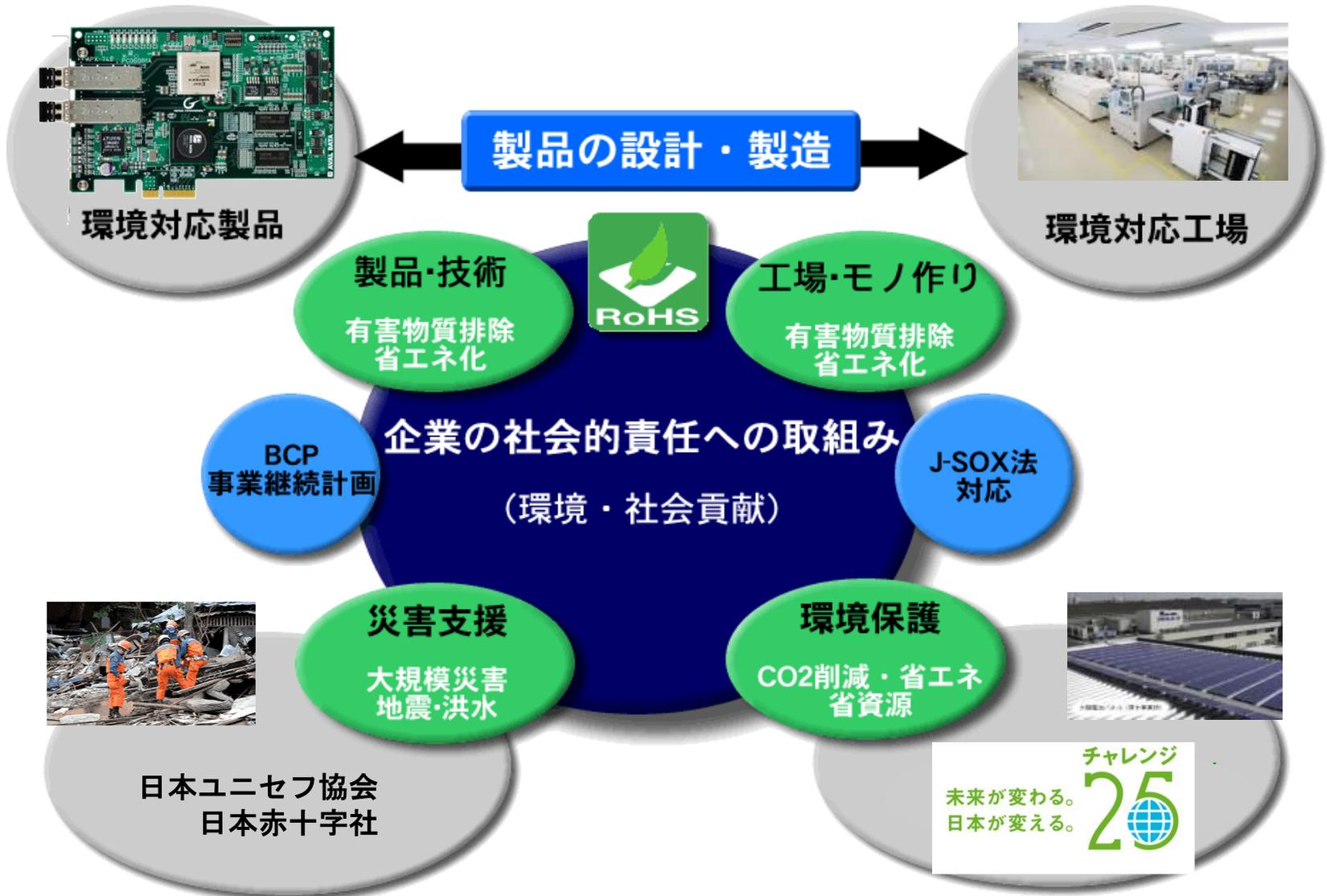
機器間の高速通信に使われます。

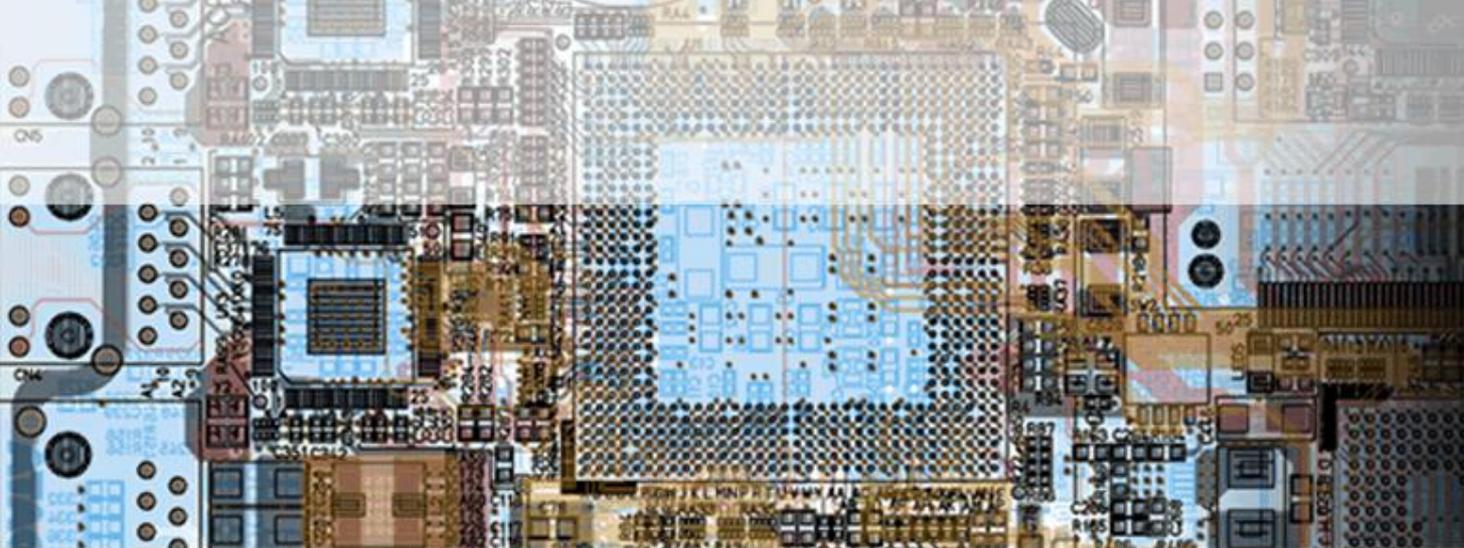
国内市場をリードするCT技術と製品



FAX,コールセンター等で使われています。

CSR経営（企業の社会的責任への対応）





2013年3月期（第54期）第3四半期業績報告・業績予想

2013年3月期（第54期）第3四半期 業績報告

[期間：2012年4月1日-2012年12月31日]

2013年3月期（第54期）通期 業績予想

[期間：2012年4月1日-2013年3月31日]

2013年2月13日に通期業績修正（連結及び個別）を行っており、これらの該当数値を以下に使用しております。

2013年3月期 第3四半期業績(連結)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

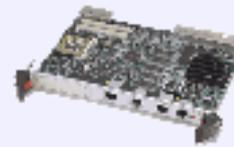
項目		第54期2012年4-12月期 (第3四半期累計)実績		第54期2013年3月期 (通期)計画	
セグメント	品目	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	320	-32.6%	420	-28.8%
	画像処理モジュール	393	-16.8%	505	-19.3%
	計測通信機器	590	3.9%	749	-14.0%
	自社製品関連商品	86	-14.2%	112	-12.5%
	小計	1,389	-14.0%	1,786	-19.4%
	セグメント利益	94	-66.1%	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	1,246	-42.4%	1,614	-44.9%
	産業用制御機器	535	-6.1%	689	-1.3%
	計測機器	653	28.1%	831	17.7%
	小計	2,435	-24.9%	3,134	-27.7%
	セグメント利益	286	-35.2%	—	—
売上合計		3,824	-21.3%	4,920	-24.9%
営業利益		35	-89.6%	-30	—
経常利益		82	-79.1%	30	-94.9%
当期純利益		35	-87.0%	0	—

(注) 連結各セグメント利益合計381百万円と営業利益35百万円との差額346百万円はセグメントに属さない全社費用等。

◆ 組み込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び半導体製造装置関連の受注が減少し、売上高は大幅に減少。

→売上高 320百万円(前年同四半期比32.6%減)



◆ 画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が順調に進んだ一方、FA全般及び液晶関連装置が低迷。

→売上高 393百万円(前年同四半期比16.8%減)



◆ 計測通信機器分野(自社製品)

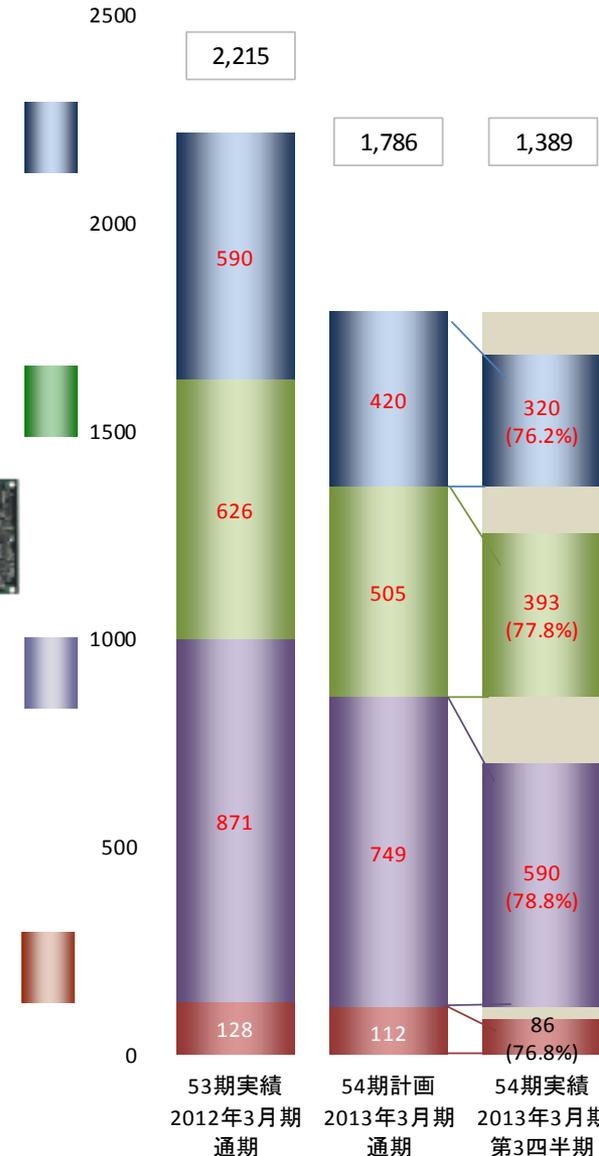
- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新製品の開拓が大きく貢献。
- CTIおよびリモート監視装置が好調に推移。

→売上高 590百万円(前年同四半期比3.9%増)

◆ 商品(自社製品関連)

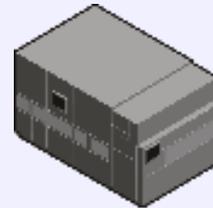
- 自社製品関連商品は、大口受注の減少により、売上高は減少。

→売上高 86百万円(前年同四半期比14.2%減)



◆ 半導体製造装置関連分野(受託製品)

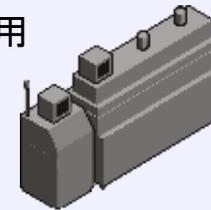
- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資が一部で行われたが、全体的な回復に至っておらず、売上高は大幅に減少。



→売上高 1,246百万円(前年同四半期比42.4%減)

◆ 産業用制御機器分野(受託製品)

- 社会インフラ関連が回復基調に転じましたが、各種産業用検査装置が低迷し、売上高は減少。

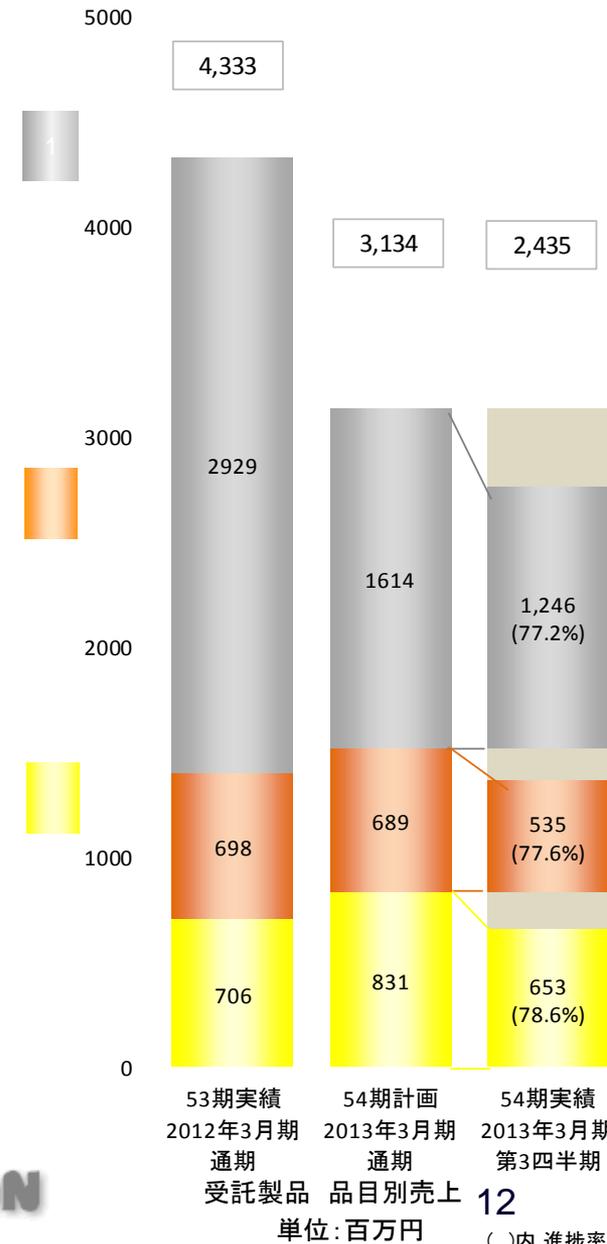


→売上高 535百万円(前年同四半期比6.1%減)

◆ 計測機器分野(受託製品)

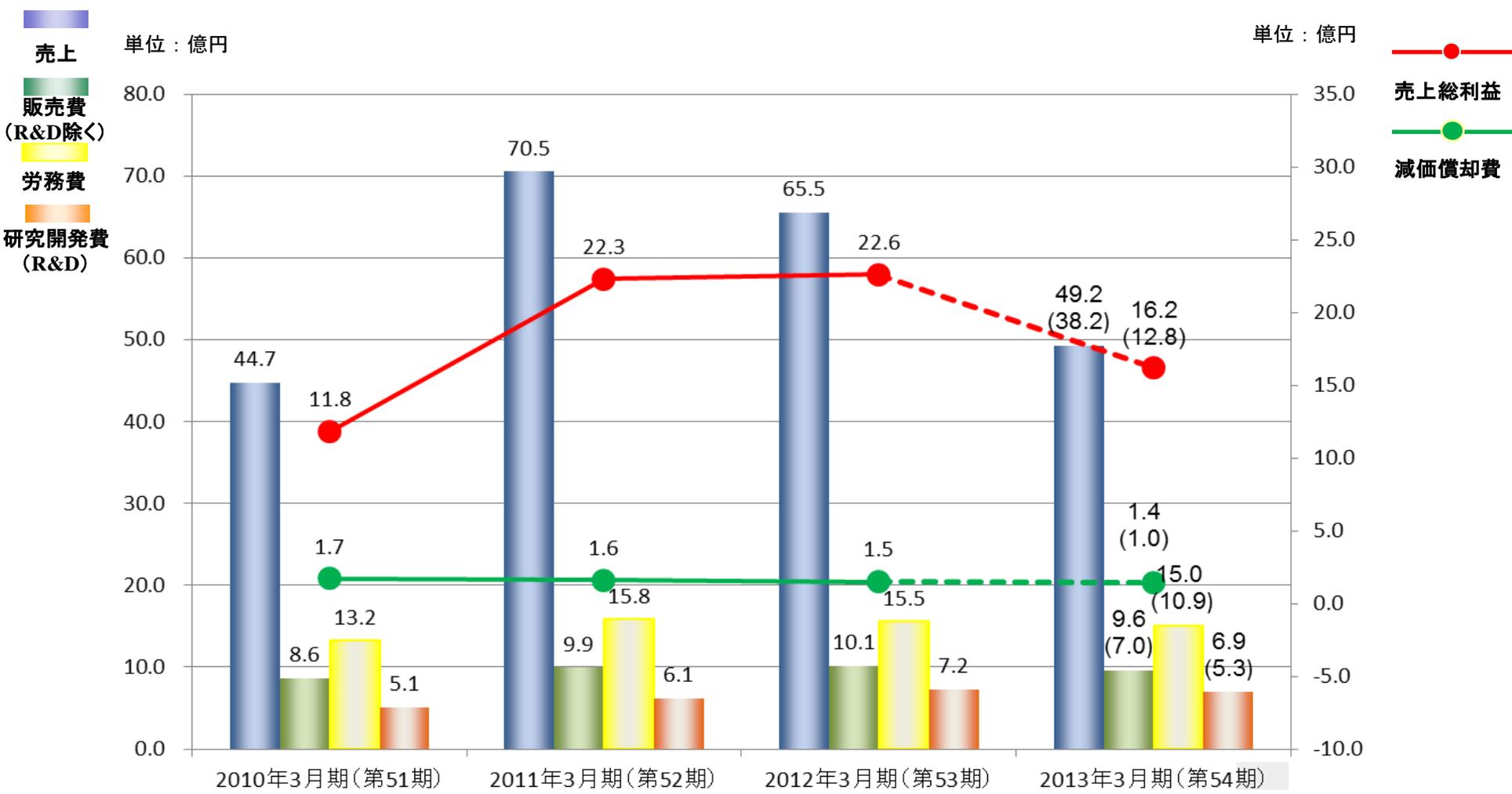
- 主力の電力関連機器全般が堅調であることに加え、各種計測機器の受注が好調に推移し、売上高は大幅に増加。

→売上高 653百万円(前年同四半期比28.1%増)



2013年3月期 第3四半期 業績（経営成績）

2010年3月期(第51期) - 2013年3月期(第53期) 計画と実績

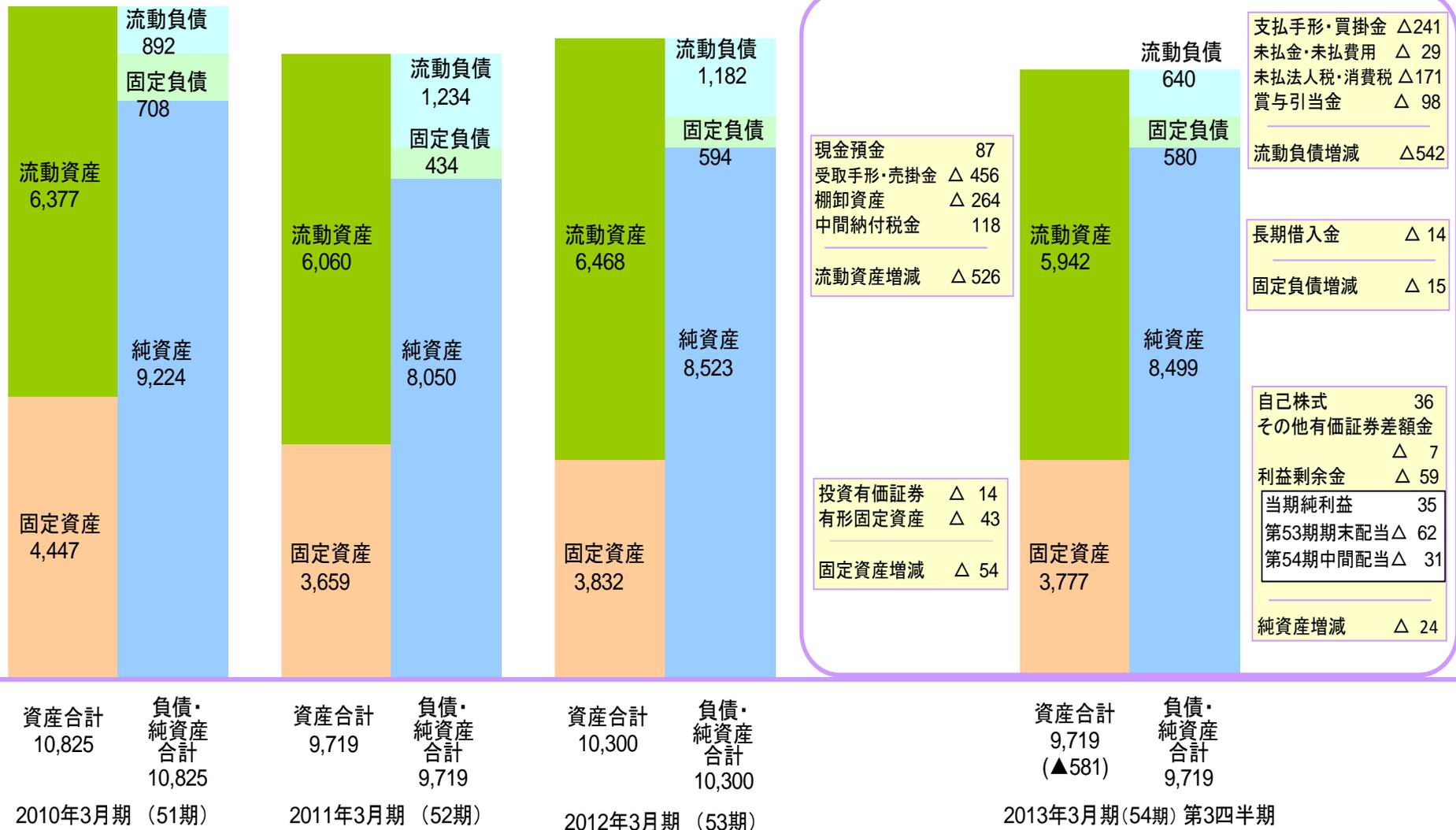


上段：計画
下段：(実績)

2013年3月期 第3四半期 業績 (財政状態)

2010年3月期(第51期) — 2013年3月期(第54期) 第3四半期

単位(百万円)



より高速に、より精細に

既存製品のシリーズ強化と利便性追求

組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

APC-134 シリーズ強化



画像

超高速画像処理ボード

APX-3326 APX-3327



次世代カメラインターフェース 製品強化

CoaX-Press対応 APX-3664



通信

更なる高速アップ・ローコストシリーズを実現

(16Gbit/秒)

APX-782 AGM-782

APX-941 LP4



新規分野への挑戦

Opt-C:Link

光 I/F グラバーボード  Opt-C:Link

APX-3800 APX-3881 シリーズ強化

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

APX-5040 シリーズ化



スマートグリッド

インテリジェント電源 大容量 シリーズ化

スマートパワーシステム



その他

スマートラインカメラ AMLシリーズ

AML-1681 AML-0881

小型画像システム

ASI-1300 シリーズ



FPGA-IPライブラリ

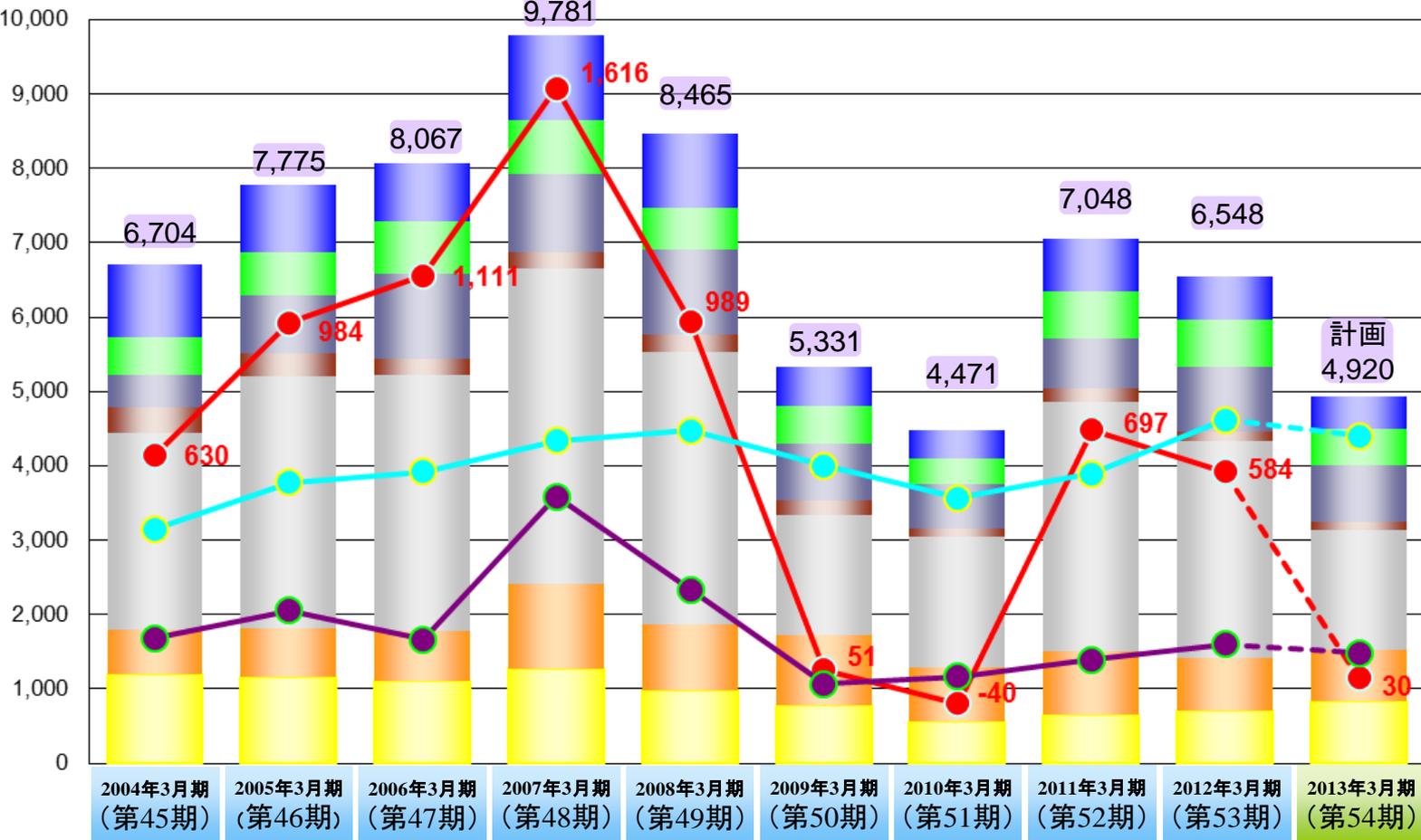
(PCIe-Gen2、DMA、etc.)

売上・利益・経営指標の推移—実績と予想

2004年3月期(第45期) — 2013年3月期(第54期:予想)

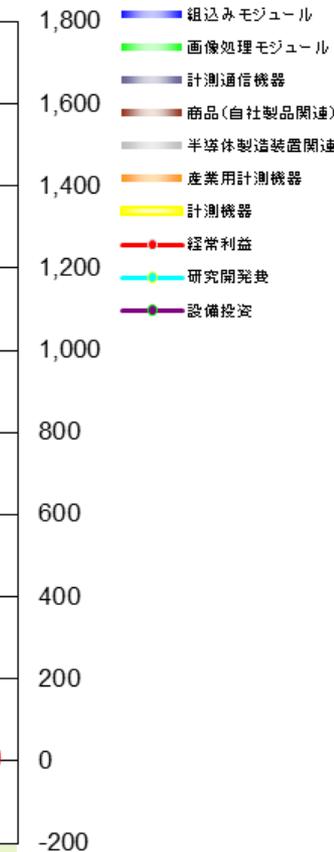
売上

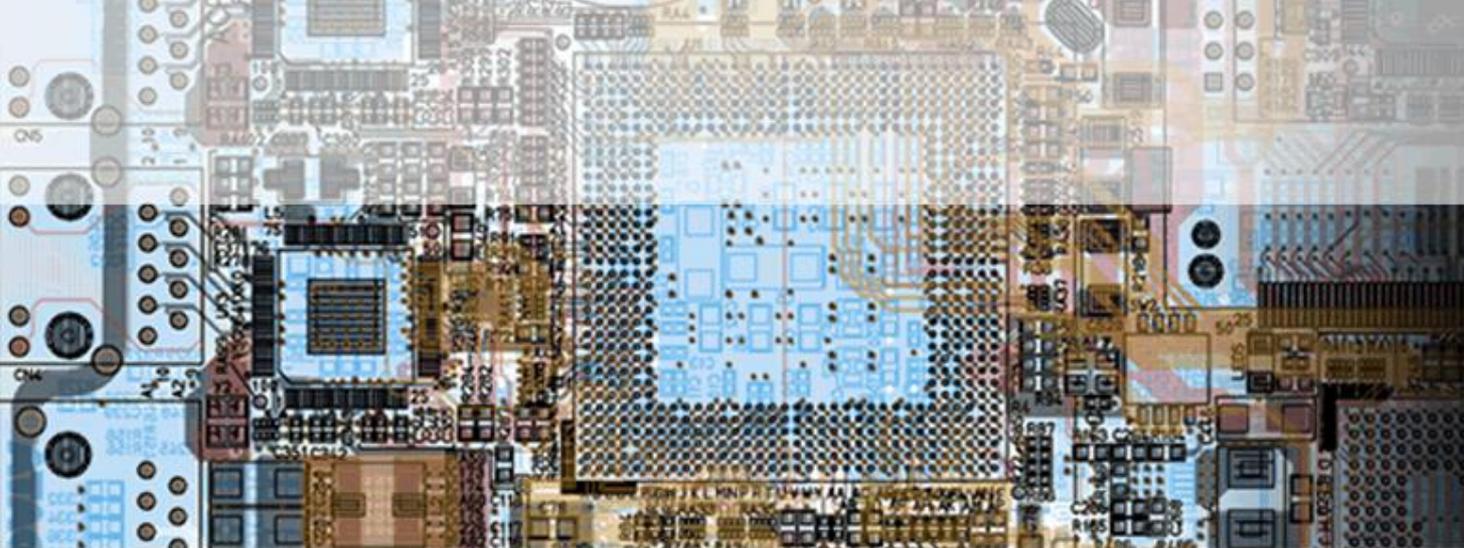
単位:百万円



経常利益

単位:百万円





2012年中期経営計画概要

2013年3月期(第54期)－2015年3月期(第56期)

AaA

actionandachievement

実行と実現

2013年2月19日

中期経営計画 成長のシナリオ(強いアバールGへ)

市場回復と予想される組込市場の変化への対応(激変する市場環境への対応と飛躍)

差別化された
新製品



パートナーとの
協業

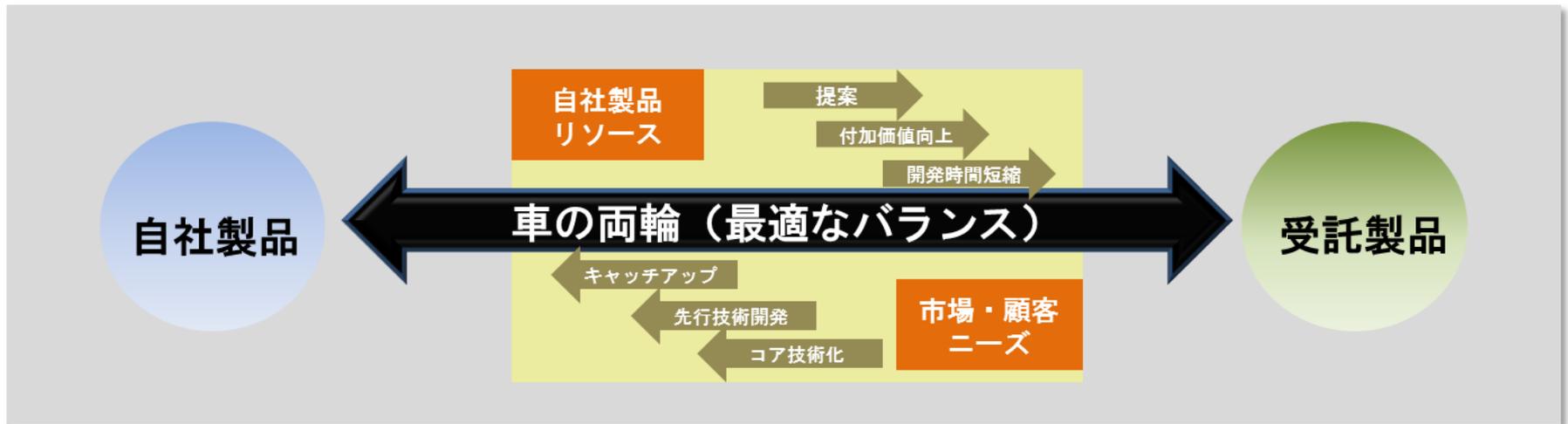
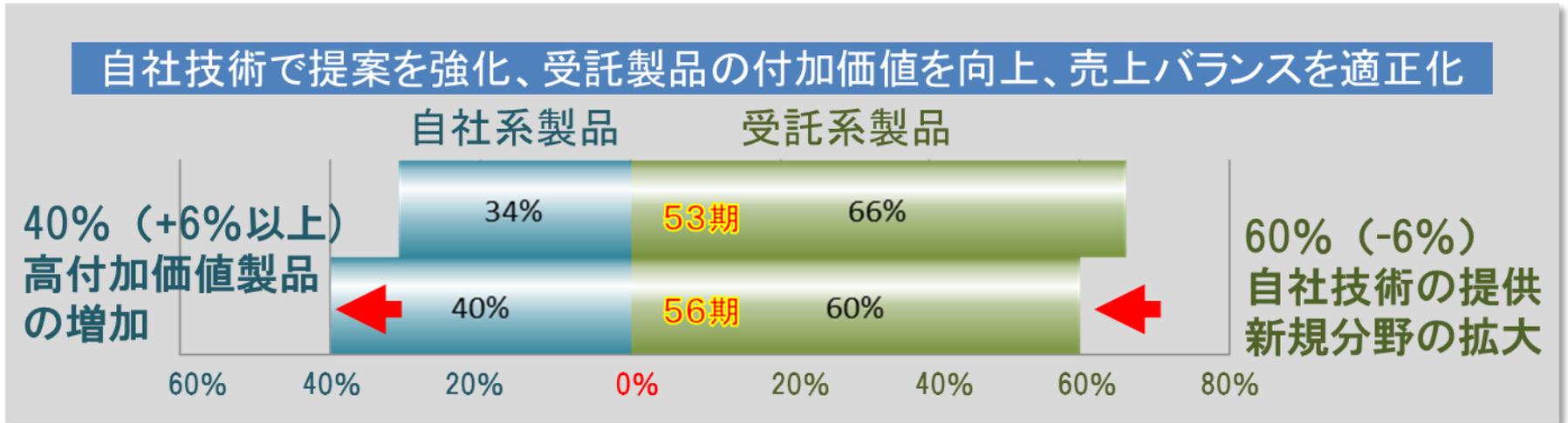
販売提携 海外戦略
技術提携



システムソリューション



製品競争力・収益性を強化、「実行と実現力」で目標を達成！



景気回復時の業界変革での飛躍

成長事業の確立

- 差別化された強い製品
- 新分野と新製品の売上向上

強い体質強化

- 変化を捉える組織が「進化」
- 積極投資と固定費の最適化

生産性の最大化

- ARP・Expressで生産性向上
- 業界トップの品質とコスト追求

AaA
actionandachievement
実行と実現

AVALue+
強い体質を維持・攻めの経営へ

連結売上
85億円

経常利益率
14%以上

ROE
10%

連結配当性向
30%

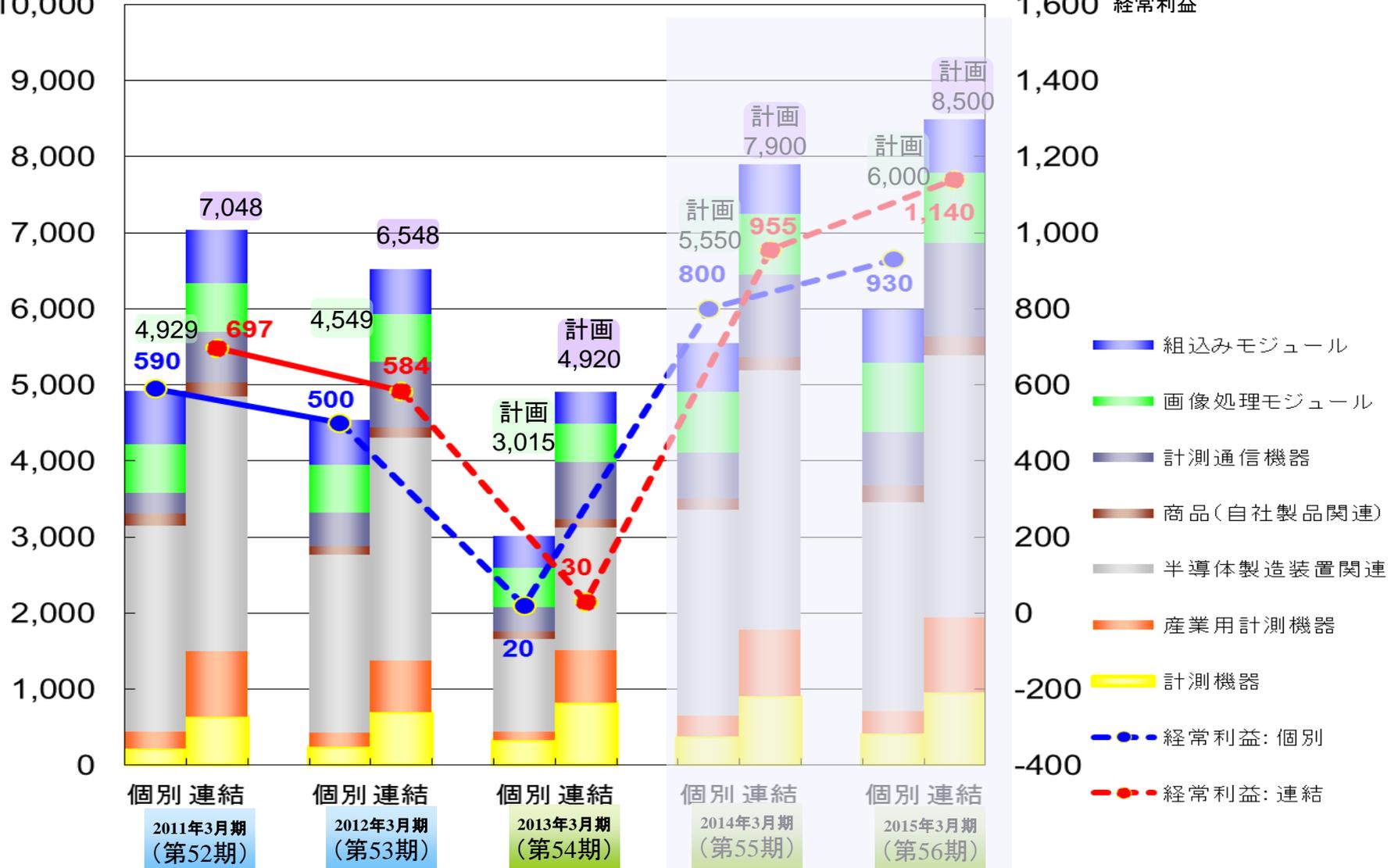
10%
以上/年
自助努力による年成長率

中期品目別売上・利益予想

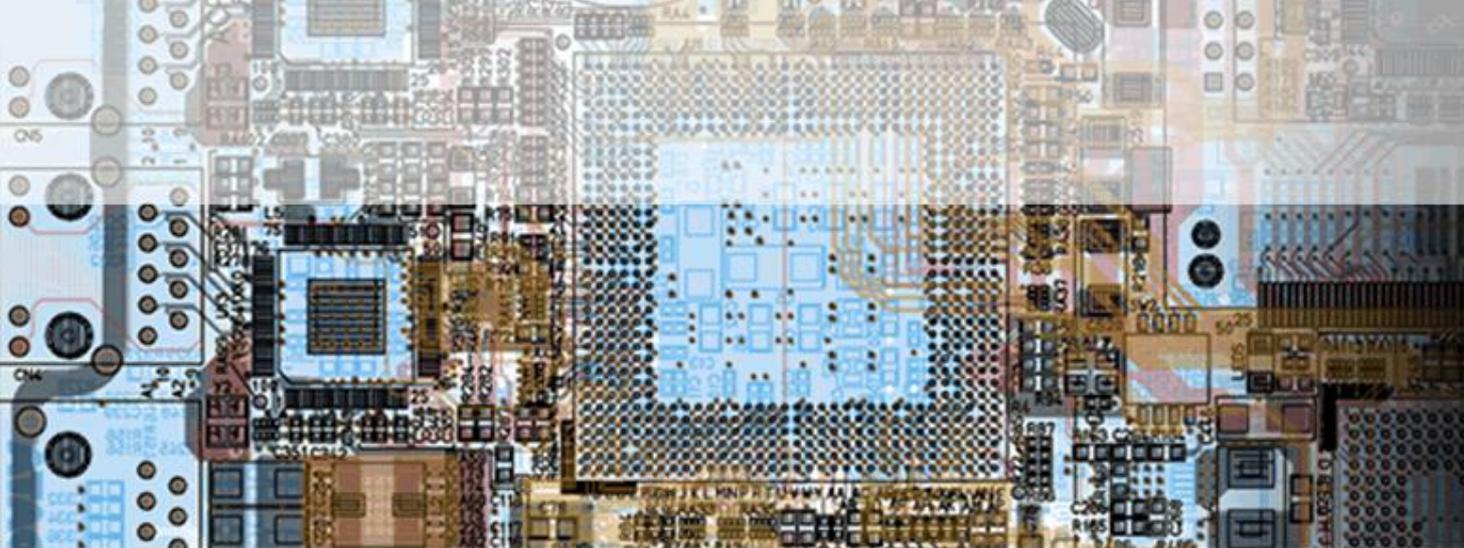
単位:百万円 2013年3月期(第54期) — 2015年3月期(第56期) 連結・個別

売上10,000

単位:百万円
1,600 経常利益



実績



参考資料

2013年3月期第3四半期業績(個別)
半導体/液晶製造装置市場と当社売上高

2013年3月期 第3四半期業績(個別)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

項目		第54期2012年4-12月期 (第3四半期累計)実績		第54期2013年3月期 (通期)計画	
セグメント	品目	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	328	-31.7%	420	-29.7%
	画像処理モジュール	393	-16.9%	505	-19.4%
	計測通信機器	277	-13.5%	330	-25.2%
	自社製品関連商品	70	-18.8%	95	-13.9%
	小計	1,069	-21.4%	1,350	-23.9%
受託製品	半導体製造装置関連	944	-45.4%	1,220	-47.7%
	産業用制御機器	81	-49.1%	110	-42.2%
	計測機器	274	44.8%	335	33.9%
	小計	1,299	-37.5%	1,665	-40.0%
売上合計		2,368	-31.1%	3,015	-33.7%
営業利益		-5	—	-50	—
経常利益		55	-85.5%	20	-96.0%
当期純利益		32	-88.4%	0	—

2002年3月期(第43期) - 2015年3月期(第56期)

